

問1 北海道の十勝平野などで行われている、同じ土地に異なる種類の作物を数年ごとに順序立てて栽培する「輪作」の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。
2. 1年間に同じ土地で2種類の作物を栽培し、土地の利用効率を最大限に高めるため。
3. ビニールハウスなどの施設を利用して成長を早め、出荷時期をずらして収益を上げるため。
4. 機械化による作業効率を向上させるため、1つの農地で1種類の作物のみを栽培し続けるため

問2 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 国後島
2. 択捉島
3. 色丹島
4. 歯舞群島

問3 日本国内で最大の小麦収穫量を誇る北海道において、生産効率を高めるために展開されている農業経営の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大阪公立入試 類似）

1. 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている
2. 大消費地に近い立地を活かし、限られた土地で付加価値の高い野菜を作る集約的な農業が行われている
3. 温暖な気候を利用して、同一の耕地で年に2回異なる作物を栽培する二毛作が行われている
4. 山間部の傾斜地に作られた階段状の畑を利用し、手作業を中心とした緻密な農業が行われている

問4 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため

問5 北海道の道央部に位置し、広大な石狩平野の中に広がる北海道の道庁所在地について、その都市名と特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。
2. 旭川市は、石狩平野の南端に位置する道庁所在地で、周辺では大規模な稲作が行われている。
3. 函館市は、道南地方の政治の中心地であり、青函トンネルを通じて本州との結びつきが強い道庁所在地である。
4. 釧路市は、道東地方の石狩平野に位置する道庁所在地で、霧が発生しやすい気候を利用した乳牛の飼育が盛んである。

問6 水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 栽培漁業
2. 養殖業
3. 遠洋漁業
4. 沖合漁業

問7 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県の全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため
2. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため
3. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地に転用されているため
4. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため

問8 世界遺産に登録されている知床では、多くの観光客が訪れる一方で、自然環境を破壊しないための対策が取られています。湿原や高山植物が広がるエリアに「木道」が設置されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
2. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
3. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため
4. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 特定の病害虫の発生を抑え、土壌の肥沃さを維持して連作障害を防ぐため。	同じ土地で同じ作物を繰り返し栽培し続けると、特定の病害虫が発生しやすくなったり、土壌の養分が偏ったりして作物の育ちが悪くなる「連作障害」が発生します。これを防ぐために、豆類、小麦、てんさい、じゃがいもといった性質の異なる作物を順番に植え替えることで、土地の生産性を維持しています。
問2	<b>答え 1</b> 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などととも、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問3	<b>答え 1</b> 1戸あたりの耕地面積が広く、大型機械を活用した大規模な土地利用型農業が行われている	北海道の農業は、他都府県と比較して農家1戸あたりの経営面積が非常に大きいことが最大の特徴です。特に小麦や大豆、てんさいなどの畑作においては、トラクターなどの大型農業機械を導入した「土地利用型農業」を行うことで、少ない労働力で広大な面積を管理し、高い生産性を実現しています。これにより、国内の小麦需要を支える重要な供給源となっています。
問4	<b>答え 1</b> 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問5	<b>答え 1</b> 札幌市は、道庁所在地として政治・経済の中心地となっており、冬には石狩平野の積雪を利用した「雪まつり」が開催される。	札幌市は石狩平野に位置する北海道の道庁所在地であり、人口190万人を超える政令指定都市です。北海道の行政や経済の中枢機能を持ち、毎年冬に大通公園などを会場として行われる「さっぽろ雪まつり」は、国内外から多くの観光客を集める一大イベントとなっています。
問6	<b>答え 1</b> 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」とは呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。
問7	<b>答え 1</b> 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため	北海道は、一戸あたりの経営面積が大きく、大規模な機械化農業が行われているのが特徴です。米の栽培面積そのものは日本最大級ですが、それ以上に、冷涼な気候を活かした小麦、大豆、てんさい、じゃがいもなどの畑作や、広大な土地を利用した酪農も非常に大規模に展開されています。そのため、農業全体で見ると「米以外の作物」の占める割合が大きく、米の単作傾向が強い東北地方の各県に比べて、全耕作面積に対する米の比率は相対的に低くなります。このように、多様な作物を組み合わせた大規模な農業経営が行われていることが北海道の大きな特色です。
問8	<b>答え 1</b> 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため	知床のような貴重な自然環境では、観光客が自由に歩き回ると足元の植物が踏み荒らされたり、土壌が踏み固められて植物が育たなくなったりする「踏みつけ」の被害が発生します。木道を設置することで観光客の動線を限定し、環境保護と観光利用の両立（エコツーリズム）を図っています。